

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第23期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社オーブドア
【英訳名】	Open Door Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 関根 大介
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂二丁目17番7号 赤坂溜池タワー 6階
【電話番号】	03-5545-7215
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 鈴木 秀明
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂二丁目17番7号 赤坂溜池タワー 6階
【電話番号】	03-5545-7215
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 鈴木 秀明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第2四半期 連結累計期間	第23期 第2四半期 連結累計期間	第22期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	2,503,147	2,785,738	4,969,755
経常利益 (千円)	935,294	988,533	1,708,016
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	616,159	615,224	1,099,249
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	584,097	615,321	1,061,845
純資産額 (千円)	4,723,969	5,817,535	5,202,213
総資産額 (千円)	5,791,212	6,999,781	6,312,084
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	19.89	19.85	35.48
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	19.87	19.84	35.44
自己資本比率 (%)	81.6	83.1	82.4
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	583,294	555,573	1,121,247
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	46,715	18,490	17,522
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	342	-	838
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,210,849	5,256,515	4,719,626

回次	第22期 第2四半期 連結会計期間	第23期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	9.69	8.61

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、全体としては緩やかに回復しました。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、金融資本市場変動の影響等に留意する必要があるとあり、国際情勢による影響についても懸念される状況でした。

これに対し、我が国の経済は、一部に弱さが見られるものの、雇用・企業収益の改善傾向が続き、緩やかな回復基調を維持しました。

このような状況のもと、旅行関連事業におきましては、旅行需要にタイミングを合わせたテレビCMを放送し、新たなユーザー層も含め認知を拡大しました。また、国内及び海外の旅行サイトとの直接連携を加速させることで商品情報の拡充を図るとともに、ユーザー要望の強い空席表示対応商品を拡大し、成約率を増加させるなど収益率の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高2,785,738千円（前年同期比11.3%増）、営業利益987,470千円（前年同期比5.9%増）、経常利益988,533千円（前年同期比5.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益615,224千円（前年同期比0.2%減）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、セグメントの業績については記載を省略しております。

(2)財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,999,781千円（前連結会計年度末比687,697千円増加）となりました。これは主に、現金及び預金が536,889千円、売掛金が115,996千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,182,246千円（前連結会計年度末比72,375千円増加）となりました。これは主に、買掛金が31,239千円、賞与引当金が34,311千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,817,535千円（前連結会計年度末比615,321千円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益615,224千円を計上したことによるものであります。

(3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末より536,889千円増加し、5,256,515千円（前連結会計年度末比11.4%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は555,573千円（前年同期は583,294千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益988,533千円などの増加要因と、法人税等の支払額408,015千円などの減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果減少した資金は18,490千円（前年同期は46,715千円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出14,139千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローはありませんでした。(前年同期は342千円の収入)

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	122,400,000
計	122,400,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	31,260,000	31,260,000	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定 のない当社の標準と なる株式であり、 単元株式数は100株 であります。
計	31,260,000	31,260,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	31,260,000	-	648,292	-	472,036

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
関根 大介	東京都港区	16,591,000	53.52
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,828,500	5.89
株式会社ザ・パス・インベストメン ト	東京都渋谷区道元坂一丁目9番4号	1,740,000	5.61
株式会社CHINTAI	東京都港区元赤坂一丁目2番7号	1,595,000	5.14
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	1,459,600	4.70
佐藤 茂	東京都港区	690,000	2.22
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン 140051 (常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済営業部)	240 GREENWICH STREET, NEW YORK, NY 10286, U.S.A (東京都港区港南二丁目15番1号)	592,000	1.90
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口9)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	450,200	1.45
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町二丁目2番2号	420,300	1.35
資産管理サービス信託銀行株式会 社(証券投資信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	392,100	1.26
計	-	25,758,700	83.10

(注) 2019年9月24日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、みずほ証券株式会社及びその共同保有者1社が2019年9月13日現在でそれぞれ以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として2019年9月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号	株式 198,200	0.63
アセットマネジメントOne株 式会社	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号	株式 1,846,100	5.91

(6)【議決権の状況】
【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 264,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 30,991,000	309,910	-
単元未満株式	普通株式 4,700	-	-
発行済株式総数	31,260,000	-	-
総株主の議決権	-	309,910	-

(注)「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式63株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社オーブンドア	東京都港区赤坂二丁目17番7号 赤坂溜池タワー6階	264,300	-	264,300	0.84
計	-	264,300	-	264,300	0.84

(注)上記の他に単元未満株式として自己株式を63株所有しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,719,626	5,256,515
売掛金	781,298	897,294
その他	180,587	226,009
貸倒引当金	757	820
流動資産合計	5,680,753	6,378,999
固定資産		
有形固定資産	152,305	139,198
無形固定資産	7,881	6,522
投資その他の資産	471,143	475,061
固定資産合計	631,330	620,782
資産合計	6,312,084	6,999,781
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,898	154,137
未払法人税等	430,716	394,155
賞与引当金	-	34,311
その他	489,936	538,623
流動負債合計	1,043,551	1,121,228
固定負債		
資産除去債務	41,358	41,358
その他	24,960	19,659
固定負債合計	66,319	61,017
負債合計	1,109,870	1,182,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,292	648,292
資本剰余金	474,020	474,020
利益剰余金	4,092,835	4,708,060
自己株式	18,719	18,719
株主資本合計	5,196,429	5,811,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,784	5,881
その他の包括利益累計額合計	5,784	5,881
純資産合計	5,202,213	5,817,535
負債純資産合計	6,312,084	6,999,781

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,503,147	2,785,738
売上原価	287,597	330,373
売上総利益	2,215,549	2,455,364
販売費及び一般管理費	1,283,105	1,467,894
営業利益	932,443	987,470
営業外収益		
受取利息	24	5
受取配当金	-	12
為替差益	2,257	883
その他	568	161
営業外収益合計	2,850	1,063
経常利益	935,294	988,533
特別利益		
投資有価証券売却益	56,027	-
特別利益合計	56,027	-
税金等調整前四半期純利益	991,321	988,533
法人税、住民税及び事業税	370,730	373,460
法人税等調整額	4,431	151
法人税等合計	375,161	373,308
四半期純利益	616,159	615,224
親会社株主に帰属する四半期純利益	616,159	615,224

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	616,159	615,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,062	97
その他の包括利益合計	32,062	97
四半期包括利益	584,097	615,321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	584,097	615,321

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	991,321	988,533
減価償却費	28,811	28,606
賞与引当金の増減額(は減少)	34,650	34,311
貸倒引当金の増減額(は減少)	485	63
株主優待引当金の増減額(は減少)	13,320	12,924
受取利息及び受取配当金	24	18
支払手数料	208	-
為替差損益(は益)	937	286
投資有価証券売却損益(は益)	56,027	-
売上債権の増減額(は増加)	214,023	115,996
仕入債務の増減額(は減少)	68,744	31,239
未払金の増減額(は減少)	25,893	115,945
その他	67,755	106,475
小計	881,750	963,571
利息及び配当金の受取額	24	18
法人税等の支払額	298,480	408,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	583,294	555,573
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	16,244	14,139
投資有価証券の売却による収入	56,818	-
敷金及び保証金の差入による支出	1,547	2,300
敷金及び保証金の回収による収入	10,000	539
その他	2,311	2,589
投資活動によるキャッシュ・フロー	46,715	18,490
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	342	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	342	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	865	194
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	631,217	536,889
現金及び現金同等物の期首残高	3,579,631	4,719,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,210,849	5,256,515

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給料手当	244,824千円	239,856千円
広告宣伝費	682,060	858,470
賞与引当金繰入額	21,621	20,216

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	4,210,849千円	5,256,515千円
現金及び現金同等物	4,210,849	5,256,515

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益	19.89円	19.85円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	616,159	615,224
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	616,159	615,224
普通株式の期中平均株式数 (株)	30,983,304	30,995,637
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	19.87円	19.84円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数 (株)	29,867	17,767
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

株式会社 オーブンドア
取締役 会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐々田 博 信 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊 藤 裕 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーブンドアの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーブンドア及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。